

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山平田校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48世帯	(回答者数) 44世帯
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験の豊富な職員や専門職の視点で支援できること	日頃から支援の内容について、職員間で共有する機会を設けている。その際、様々な視点で意見交換を行っている。	より支援内容を充実するための意見交換の実施。
2	利用者様、保護者様のニーズ、課題に沿った支援の提供	普段の支援様子や保護者様へのフィードバックまたは定期面談での要望等を職員間で共有し、児発管の指示のもと、日々の支援へ反映させている。	目標を明確にし、最終目標のイメージを利用者様、保護者様と共有しながら、支援を提供していく。
3	相談支援専門員との連携	相談支援専門員と定期的に情報共有を行い、担当者会議に積極的に参加している。	他事業所との連携強化。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内が狭い	運動するスペースの確保難しい。また、個別相談できる部屋(面談室)がない。	ワンフロアであるため、パーテーションの位置を変更しながらスペースを確保している。運動場面では、必要に応じて、近隣の公園を利用することも検討していきたい。
2	小集団活動が少ない	個別療育が基本となっている。小集団活動の機会が少ない。また、小集団活動を実施するにあたり、教室のスペースの問題もあり、活動内容も工夫が必要な状況。	小集団活動を計画的に企画し、季節にあわせた活動の提供や保護者会の開催など事業所内でのイベントを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」岡山平田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

48世帯

回収数

44世帯

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	7	3	0	勉強スペースはしっかり取れていると思うが、運動を取り入れるには少し狭いように思う。せっかく良い指導をしていただいているので、もったいないと感じる。わたしの感覚ですが、事業所自体が頼れている気がします。歩いた時とか平衡感覚がおかしくなる。遊びの時間にボール遊びをしていたりしますが、スペースが狭く、キックしてボールが飛ぶと時々危ないと思う。仕切りで仕切られていて、落ち着いて個別の支援がしてもらっています。身体を動かすスペースとしては少し狭い気がする 1対1のところですが、ゆったりできています。	ワンフロアですが、パーテーションで区切って支援スペースを確保しています。運動する際は、レイアウトを変更するなど、必要に応じて、スペースを確保できるようにしています。利用者が多い時間帯では、ボール遊びを控えるなど、他のお子様や保護者様に危険がないよう注意していきます。 事業所の構造については、管理会社に確認します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41	2	0	1	1対1でありがたいです	引き続き、個別療育を基本に丁寧な支援を心掛けます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	6	0	2	パーテーションと番号で仕切られていたり、床のテープで入ってはいけない場所などわかりやすくされている。 バリアフリーに関しては分からない。子どもが支援を受ける環境は席の横にホワイトボードもあり他のスペースと仕切られていて集中しやすい環境だと思う。 単純なつくりになってきています	施設環境面で改良すべき点が発生した場合にはその都度対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	3	2	1	心地よいです	ありがとうございます。引き続き、消毒、清掃を徹底し、安全に活動できるように心掛けていきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	3	0	1	子どものことをよく理解してくださっています	ありがとうございます。引き続き、お子様一人ひとりに合わせた対応、支援をしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	0	0	2		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44	0	0	0	フィードバックのたびに支援の方法など子供に合うように話し合っている。 よく理解した上で提案や報告をしてくださっています	定期的に面談を行い、ニーズや課題を共有した上で、お子様の発達状況に合わせた個別支援計画の作成に努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2	1	4	移行支援について、定期的に情報共有していただきたいと思います。また、学校からの要望があればそれを取り入れてできる支援があればお願いしたいです。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	2	0	2	相談の上変えてくださっています	職員間で支援内容を共有しています。固定化にならないよう複数の指導員で関わらせていただいています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	10	17	8	私達が参加していないだけかもですがなくても困らないと思う	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	0	0	0	丁寧に説明してくださっています	引き続き、丁寧な説明を心がけます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	11	7	5	利用者層の中では年齢が上になるので、当てはまらないことが多いです	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	43	1	0	0	伝え合う時間を設けてくださっています	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	1	0	1	毎回話し合う時間があり助かっています	引き続き、定期的に面談機会を設けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	42	2	0	0	寄り添って話して下さって、私のことも支援して下さっている気持ちになります。ありがとうございます。	引き続き、一人ひとりに寄り添った支援させていただきながら、お困りごとなどを聞けるよう常に心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	11	12	13		現在は、必要に応じて個別で対応させていただいております。今後は、保護者会の開催等、保護者様同士が交流できるよう計画していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	6	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	11	4	13		定期的にブログでの発信を行っています。発信していることを周知していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	1	0	5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	4	2	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	7	3	14		毎月1回防災訓練を実施しており、その報告書を校舎に掲示しています。皆様に認識していただけるように努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	3	0	5		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	5	0	13	今のところそのようなことが起こったことはありません	日頃からリスク管理は徹底していますが、万が一事故が発生した場合には、正確に状況説明をさせていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	0	楽しく通っています。	ありがとうございます。引き続き、安心できる環境作りに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	4	0	1	毎日行きたいそうです	ありがとうございます。引き続き、楽しく通っていただけるよう支援を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」岡山平田校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	ご利用者の特性に合わせて支援スペースを確保している。	教室全体が狭いので、ある時間帯に利用者が集中すると人口密度が高くなってしまふ。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		職員の人数が少ないわけではないが、指導員の休みが重なったりすると、最終時間の振替が難しいことがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	ワンフロアをパーテーションで区切って、各ブースの入り口に番号札をつけるなど構造化を図っている。	バリアフリー化はできていない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	こまめに消毒し、安全に活動できるよう心掛けている。	自由活動できるスペースが少ない。いすの修繕が必要と思われる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	倉庫としての空間をきれいにし、クールダウンのスペースをつくっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		共通理解する場を設け意見交換している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートもとに改善計画を立て実施している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		共通理解する場を設け意見交換をしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		ホームページの運用を進めていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		会社独自の研修や発達支援研究所の研修に参加し資質の向上に取り組んでいる。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		意見交換をしながら立案している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		意見交換をしながら立案している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		翌日に支援の振り返りをする事で、日々の行動観察の報告をしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	意見交換している。	チームでプログラムの立案までは行えていない。		

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		支援の振り返りと固定化にならないよう複数の指導員で担当している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	小集団活動を定期的に行えるようにしていきたい。 小集団の活動を適宜行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	複数の職員での対応が必要な場合は打ち合わせを行っている。 情報共有を行い、連携の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼時には、特に共有が必要なことのみの連絡だが、翌日の朝礼時に前日の支援内容を共有し、ノートにまとめている。翌日行っている。事故など管理者に報告が必要な場合は、その都度報告をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録を作成し、支援の検討や改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		日々の支援の振り返りに加え、定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択の場を設けて療育を提供している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者、児発管、指導員が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	年に数回協力医療機関と連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		継続的な連携の機会を設けていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談支援員がついている利用者の場合は、ケース会議などに参加させてもらっている。	継続的な連携の機会を設けていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	該当者がいる場合、連携している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		継続的な連携の機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		継続的な連携の機会を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	会議や部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の振り返りで共通理解が図れるように努める。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		家族支援プログラムを実施できる知識を持つように研修機会を設ける。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		更新時にお伺いしている。また、日々の振り返りやモニタリング時に実施している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意を得て療育を実施している。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		今後開催について協議していく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談日を提案し迅速に対応するように努めている。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログでの発信を行っている。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		施錠できる場所に保管・管理している。		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様、保護者様1人ひとりに寄り添うスタンスで支援させていただき、困りごとに傾けるよう常に心がけている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		今後開催について協議していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年に数回、研修を行い感染症対応について、実践も交えて行っている。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		誘導から避難までを行っている。BCPの見直しも検討している。報告書も掲示して周知を図っている。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		基本的には食事の提供はしていないが、イベント開催時など食べ物を提供する場合は、アレルギー確認を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		安全計画を作成し安全管理について共有・実践している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		利用時のお子様に対して一緒に防災訓練を実施している。報告書を作成し、掲示することで、家族へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			事業所内で共有し安心・安全に運営できるよう努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			会社独自の研修や、事業所内研修を行い未然防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			計画時に説明している。		